授業科目	＊ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ					実務家教員担当科目	－
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	文屋　典子						
授業概要	ソーシャルワークの展開過程とそれに係る知識と技術について解説する。グループワークやケアマネジメント、コミュニティワークの展開をとりあげ、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク実践について解説するとともに、人と環境との交互作用に関する理論とそれに基づくソーシャルワークについて解説する。						
授業形態	講義				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解している。 2．人と環境との交互作用に関する理論について理解している。 3．ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解している。 4．グループワークの展開過程とそれに係る知識と技術について理解している。 5．ケアマネジメントの展開過程とそれに係る知識と技術について理解している。 6．コミュニティワークの展開とそれに係る知識と技術について理解している。
理想的レベル	1．ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの実践と意義について説明できる。 2．人と環境との交互作用に関する理論について説明できる。 3．ソーシャルワークの過程について理解し、それに係る知識と技術を習得している。 4．グループワークの意義と目的、展開過程とそれに係る知識と技術について説明できる。 5．ケアマネジメントの意義と目的、展開過程とそれに係る知識と技術について説明できる。 6．コミュニティワークの意義、目的、展開とそれに係る知識と技術について説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	20%	毎回の授業におけるコメントカードへの記述内容から授業内容の理解度、授業への取り組みを評価します。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	－	DP3	○	DP4	－	DP5	－	ナンバリング	WE21207J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業内容についての復習	4

授業計画

第 1 回	テーマ：ソーシャルワークの視点と専門性

	バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、ミクロ・メゾ・マクロの視点、人と環境との交互作用を焦点とする視点について解説する
第 2 回	テーマ：ケースの発見とインテーク ケースの発見の方法、インテークにおけるソーシャルワーカーの役割と支援関係の形成について解説する
第 3 回	テーマ：アセスメントとプランニング アセスメントの意義と目的と方法、プランニングの意義と目的と方法について解説する
第 4 回	テーマ：支援の実施とモニタリング 支援の実施の方法とモニタリング、効果測定の方法について解説する
第 5 回	テーマ：支援の終結と結果評価 支援の終結の過程と結果評価、アフターケアについて解説する
第 6 回	テーマ：ソーシャルワークの記録 記録の意義と目的、記録の内容、フォーマットについて解説する
第 7 回	テーマ：ソーシャルワークの面接 面接の意義と目的、面接の構造と場面、技法について解説する
第 8 回	テーマ：グループワークの意義と目的 グループワークの意義と目的について解説する
第 9 回	テーマ：グループワークの展開過程 グループワークの準備期、開始期について解説する
第 10 回	テーマ：グループワークの展開過程 グループワークの作業期、終結期について解説する
第 11 回	テーマ：ケアマネジメントの意義と方法 ケアマネジメントの意義と方法について解説する
第 12 回	テーマ：ケアマネジメントの展開過程 ケアマネジメントの展開過程について解説する
第 13 回	テーマ：コミュニティワークの意義と目的 コミュニティワークの意義と目的について解説する
第 14 回	テーマ：コミュニティワークの展開 コミュニティワークの展開について解説する
第 15 回	テーマ：人と環境との交互作用に関する理論 人と環境との交互作用を焦点とする視点、システム理論と生態学理論について解説する
テキスト	新・MINERVA 社会福祉士養成テキストブック　5 「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」 空閑浩人・白澤政和・和氣純子　編著 ミネルヴァ書房
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中、適宜紹介します

課題に対するフィードバックの方法	コメントカードは毎回返却します。質問等に関してはコメントを記入し、授業の中で共有するなどしてフィードバックを行います。
学生へのメッセージ・コメント	「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ内容を理解しておきましょう この科目で学ぶ用語は、ソーシャルワークの実践において道具となるものです。繰り返し復習して、用語を適切に用いることができるよう身につけていきましょう。